



かわにし

川西高等特別支援学校
学校だより 第10号
令和2年1月17日

“一年の計は元旦にあり” — 新しい年を迎えて

校長 小 塚 さとみ

新年明けましておめでとうございます。この冬休み、大きな事故やけが等の報告もなく、川西高等特別支援学校の生徒、保護者の皆様、職員がつつがなく令和二年の新しい年を迎えられたことに感謝しています。

新しい年、というのはいいものです。昨日の自分となにも変わるわけではないのに、年を越すというだけで気持ちがしゃきっとしたり、冬の冷たい風も清々しく感じたりします。そして、いい年にしたいという思いが募り、心が凜とします。

“一年の計は元旦にあり”という言葉がありますが、今年の抱負、夢の実現のため、計画を立ててほしいと思います。そこで、計画を立てるコツについて紹介します。

はじめに「ゴールを明確にする」こと。自分の夢や抱負、目標を具体的にはっきりさせましょう。このとき、夢を達成する日を決めることが肝心です。「夢に日付を入れる」のです。注意したいのは「長い目標と短い目標を持つ」ことです。何ヵ月先の日付を設定する長い目標と、1ヵ月先や10日先の日付を設定する短い目標、その両方があると小さな達成感を積み重ねながら大きな達成にたどり着くことができるでしょう。

次に、夢を実現するためには何をしたらよいか考え、やらなければならないことを出来るだけ多く挙げて書き出します。「やらなければならないことリスト」を作るのです。そしてリストを整理し、やらなければならないことの「実行する順番を決める」ことです。

また、ゴールに向かって計画を実行するためのコツもあります。それは、夢を実現すると「宣言する」こと。有言実行、言ったからにはやらなければならない、というのはモチベーションのひとつです。一緒に目的に向かう仲間がいるとなおさらいいですね。

ただし、あまり気負って考えないようにしましょう。もし、計画に修正が必要になったらやり直せばいいのです。自分のスピードでゴールを目指しましょう。

さて、“一年の計は元旦にあり”の前段には、実は“一日の計は朝にあり”という言葉が存在します。これは「その日にやるべきことは朝に計画を立てるのがよい」ということです。

地平線から陽が昇り、空が明るくなったら新しい一日の始まり。毎朝スタート地点に立っていることを意識しましょう。毎日が新しい始まり。毎朝新鮮な気持ちでいることが大切です。そして、この積み重ねが大きなゴールにつながるのです。それぞれの夢に向かって、新しい一歩を進めましょう。

本年もどうぞよろしくお祈りします。



新年の目標・今年の抱負

令和最初の正月。大きなケガや病気もなく、家族でゆっくり休養ができたのではないのでしょうか。新年を迎え、代表生徒の新年の抱負や3学期の目標を紹介します。

新年の目標～始業式・各学級代表の発表より～

私たち3年生にとって、3学期は卒業に向けて学校生活を締めくくる学期です。4月から社会人となって働くことが出来るように、学校や家庭で、状況を見て、テキパキと動くように心掛けます。 (3年生)

今年の目標は、挨拶や返事などのコミュニケーションを取れるようにすることです。実習で、伝わる声での挨拶や返事が上手く出来なかったのが上手くできるように頑張りたいです。 (3年生)

実
有
行
言

私は、相手を見て話を聞くことが苦手です。今年は、ふれあいジョブや現場実習で、できるだけ職場の人の顔を見て、指示をしっかりと聞きたいと思います。 (2年生)

カフェ・バックヤード班で接客や品出し、包装等を何度も練習しました。4月からは、新1年生が入学してくるので、手本になれるように、接客の仕事を頑張りたいです。 (1年生)

3学期は、2年生に向けて「頑張るぞ！」という覚悟を決めて学校生活を送りたいです。大事なことをメモにとる習慣や規則正しい習慣を身に付けたいと思います。 (1年生)

新年の抱負～冬休みの生活表より～

- ・ 体力を付ける。
- ・ 健康に過ごす。
- ・ 大きな声で挨拶をする。
- ・ 職業技能で新1年生に教えられるようになりたい。
- ・ 平和に過ごす。
- ・ 自立に向けて、いろいろなことに挑戦したい。
- ・ 我慢する。
- ・ 落ち着いて行動する。
- ・ 忘れ物をしない。
- ・ 自動車免許を取得する。
- ・ 卒業まで休まず、笑顔で過ごす。
- ・ 英語を話せる人になる。
- ・ 社会人になるために、今できることをしっかりやる。

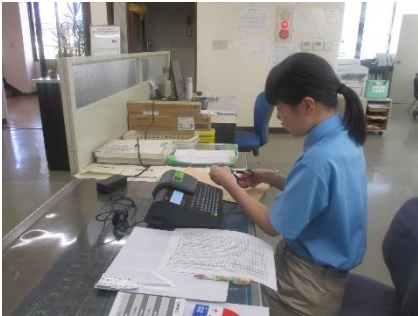


後期の活動紹介（学校評価資料）

【ふれあいジョブ（1・2学年） 現場実習・校内実習（全学年） 進路校外学習（2学年）】

後期は全学年がふれあいジョブや現場実習に取り組みました。1学年にとっては初めての校外での本格的な実習で、緊張感をもって取り組みました。2学年は前期の実習を踏まえて、さらなるステップアップと経験の幅を広げる実習となりました。3学年にとっては卒業後の進路決定に向けて大事な実習でした。実習を終えた生徒たちは、それぞれに成果と課題を感じ、一回り成長して戻ってきました。

2学年は、進路校外学習として卒業後の生活を見据えハローワークやグループホーム、福祉事業所等を見学しました。



【修学旅行（3学年）、校外学習（1・2学年）】

3学年は東京方面で二泊三日の修学旅行を行いました。卒業後にも自分たちで計画して旅行に行けるようになることをねらいとしました。班別行動では、班毎に行きたい所を決め、行程を考えました。当日は地図やガイドブックを頼りに行動し、十日町ではできない経験をして、見聞を広げることができました。

1・2学年は、在学中や卒業後の利用を目指し、十日町市内で市役所や図書館、自動車学校等、公共施設の利用の仕方を学びました。



【あいさつ運動、学部集会、不審者対応訓練】

全校生徒・職員が明るいあいさつを交わし合える学校を目指して、生活委員会と総務委員会が協力して、あいさつ運動を行いました。また、今年度より、毎週月曜日に学部集会を開き、進路指導や生徒指導に関わる大切な考え方や言動について学部主事が講話を行っています。

職員研修では、毎年一回、川西駐在所の方を講師に迎え、不審者対応訓練を実施しています。



【Kawanishi はたちを祝う会】

今年度初めて、文化祭と同日に、卒業後1・2年目の卒業生とその保護者を対象に「Kawanishi はたちを祝う会」を行いました。前半は式典として卒後2年目の卒業生が「はたちの決意」を発表し、後半は卒業生と保護者に分かれ、それぞれ茶話会と情報交換会を行いました。

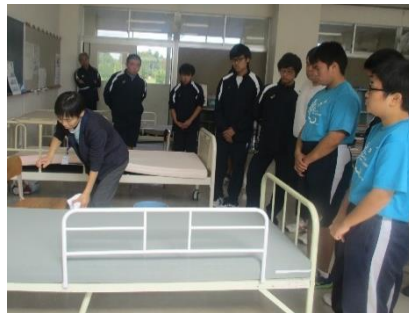


【地域との連携活動（外部講師、校外活動、地域行事への参加等）】

職業技能では、カフェ・バックヤード班がニュー・グリーンピア津南の方から接客の仕方や用具の扱い方を、清掃・介護班があかね園の方から施設・設備の消毒作業や車いすの操作・管理を教えていただきました。また、昨年に引き続き、河井恵美先生を講師に性に関する指導を年間で3回行いました。

清掃・介護班は、地域の上野小学校や川西総合体育館等で清掃活動を行ったり、川西中学校に出掛けて中学校1年生に清掃の仕方を教えたりしました。カフェ・バックヤード班は、文化祭のPR活動として地域の施設や事業所でチラシや試飲のコーヒーを配ったり、十日町市内の福祉事業所の方と接客の合同練習を行ったりしました。また、ふれあいの丘支援学校中学部が「高等部実習」として当校の校内実習に参加したり、カフェ・バックヤード班がふれあいの丘支援学校で出張カフェを開店したりしました。

地域の高校生が多数参加する、まちなか×GAKUENSAI 2019 に今年も参加しました。今年で3回目の参加となり、希望生徒がクラブ班の作ったコーヒー・紅茶を販売し、試飲の紅茶を配布しました。



【PTA 進路研修、公開授業研修、魚沼地区特別支援教育フェスタ】

PTA 進路研修として、11月に十日町・津南地域の企業や福祉施設の見学会を行い、保護者・職員合わせて8名が参加しました。生徒が在学中に実習でお世話になったり、卒業生が就労したりしている事業者を見学し、就労に向けて必要な力や実際の働く現場の様子等について、理解を深めました。

職員研修として、10月に公開授業研修を行いました。校外から24名の参加者を迎え、社会生活の授業を公開し、協議会では「よい授業とは」というテーマで、2時間にわたり熱く語り合いました。12月には魚沼地区特別支援教育フェスタに全職員で参加し、6編の実践ポスターも発表しました。

